

健康ライフ

知ってほしい、予防接種のこと

～感染症の流行を未然に防止するために～

ワクチンで防げる病気から子どもを守ろう



地域福祉センターほのか
丹野 保健師

■集団接種から個別接種へ

わたくしごとですが、4月の人事異動により、十数年ぶりに健康推進係（旧保健指導係から係名が変更になりました）の担当になりました。健診や予防接種などずいぶんと中身が変わってきており、頭の切り替えに正直とまどっています。変わってきている中での最たるものは、予防接種でしょうか。以前は保健師が各学校に向いて行ったり、公民館等に来ていただいて集団で行なうものがほとんどでした。ところが、今は個別接種が主で、病院に行って受けるようになりました。特に、乳幼児期にはたくさんの予防接種があるため、お母さんたちはどの時期に何の予防接種を受けるかスケジュールを立て、子どもの体調管理をするのに苦労も多いと思います。今でも唯一集団で行なっている予防接種にポリオ生ワクチンがありますが、これも9月から不活化ワクチンに切り替わり、個別接種に移行されます。置戸町では当初生ワクチンの集団接種を10月に予定してありましたが、最後の

集団接種として6月に前倒しで予定しております。詳細は個別通知と広報で周知いたします。

■予防接種の意義

感染症がまん延し、大きな被害を与えていた時代は過ぎ去り、今ではその流行があまり見られなくなったため、予防接種によって得られた免疫が感染症の流行を抑えていることを忘れがちになっているかもしれません。しかし、これからも感染症の流行の予防のためには、予防接種によって国民全体の免疫水準を維持し、社会全体として一定の接種率を確保していくことが重要です。予防接種に関しての情報提供や周知は都度行なっていますが、疑問や相談は地域福祉センター健康推進係までお気軽にお問い合わせください。（☎52-3333）



人の動き

●世帯数	1,570 世帯 (+ 5 世帯)
●人 □	3,333 人 (- 6 人)
●男1,554人(- 8人) 女1,779人(+ 2人)	

平成24年4月30日現在()内は3月末比

編集後記

○春の雪解けとともに道路脇で目立ち始める空き缶などのゴミ。実際に拾いながら歩いてみると、こうしたゴミはあちらこちらに散乱しており、量もかなり多いことに気付かされます。車の窓からのポイ捨てがほとんどと考えられますが、人目につかず、しかも雪で隠れるとあって、冬場はドライバーの罪悪感が薄れるのでしょうか。毎年のことながら、やるせない気持ちになります。

○日曜大工DIYにのめり込んでいます。自分の頭と手を使って仕上げたオリジナル品には愛着もひとしおです。 ㊦

喜びと悲しみ(敬称略)

■ご出生おめでとうございます

○鈴木 良知 男児 太郎(たろう) 豊住第一 4/6

■お悔やみ申し上げます

○瀬戸 守治	92歳	境野親交	4/18
○武山 信	57歳	緑栄	4/25
○大沼四四夫	78歳	秋田	4/26
○草岡 静江	92歳	境野中央	4/26
○二本柳静子	86歳	緑清園	5/1